

目 次

I 令和5年度事業概要編

概 要	1
沿 革	1
予 算 ・ 決 算	2
事 業 統 計	3
所 員 名 簿	3
試 験 ・ 検 査 業 務	4
調 査 ・ 研 究 業 務	9
行 事 お よ び 見 学 の 報 告	21

II 調査・研究報告編

〔報文〕 安全性を考慮した加熱脱塩素化処理のバイパスに関する検討	23
----------------------------------	----

高倉 晃人・他

ごみ焼却施設2工場において安定運転時、炉立上げ時、炉立下げ時の3ケースについて、ばいじんの加熱脱塩素化処理のバイパスが可能なタイミングを明らかにした。また室内実験により、バイパスした場合のばいじんからの重金属類の溶出抑制のための適切な薬剤添加量を明らかにした。

〔報文〕 劣化したアスベスト含有成形板からの降雨によるアスベスト飛散	29
------------------------------------	----

花田 拓也

国内では新規の石綿（アスベスト）製品の製造・使用等は禁止されているが、既存の石綿含有成形板（屋根等）については現在でも通常使用が認められている。しかしながら先般、劣化した屋根から降雨時に石綿が飛散する疑いが生じたことから、本研究では劣化した石綿含有成形板からの降雨による石綿飛散の実態を調査した。

〔研究ノート〕 BOD測定用植種液としての河川水の有用性	35
------------------------------	----

藤原 康博

大阪市内2カ所の河川水を植種液として、組成が既知の試料についてBODを測定し、大阪市内の河川水を植種液として用いることが可能であるか予備的な検討を行った。その結果、BOD測定試料の測定値は概ね良好であった。

他紙発表および学会発表要旨	39
---------------	----